

THE KITAKAMI TIMES

国際リニアコライダー(ILC)の英語版広報誌 (日本語要約版)

コミュニティへの広報活動 ～鈴木厚人氏とILCキャラバン～

岩手県 和山アマンダ

I L Cは夢と希望を与えるプロジェクトですが、専門的な話が多く、一般の方に興味・関心を持ってもらうのが大きな課題となっています。

KEKの元機構長・岩手県立大学長の鈴木厚人氏は、I L Cを100年以上続くプロジェクトにするため、できるだけ多くの人々の意見を求め、県民の参画を図ろうと考えています。

また、外国人住民が構成するI L Cサポート委員会も、一般の方にI L Cを理解してもらうために、祭りなどにI L Cブースを出展し、地域の国際化について理解を深めようとしています。私自身も小学生にI L Cの講演をしたことがあり、子どもたちからも、国際的なまちづくりのアイデアをたくさんいただきました。



岩手県ではこのように、様々な関係者が一般の方への広報活動に取り組んでいます。I L Cは、地方自治体、政府、民間、地域住民、世界との協力が必要なビッグプロジェクトです。I L Cの実現に向けて、今から団結して取り組む必要があります。

水沢駅でミッション:風鈴

奥州市 アンナ・トマス



毎夏、奥州市では水沢駅、水沢江刺駅、市役所に南部鉄器の風鈴を飾っています。奥州市I L C推進室は、KEKで作成したI L Cかるたを短冊にして、風鈴に取り付けました。

また、水沢駅の無人観光案内所がリニューアルされ、無料W I F Iなどが使用できます。多言語によるI L C観光ガイドマップも置いてありますので、ぜひ手に取って下さい。私は、毎日水沢駅を利用しており、駅の利用客が風鈴やI L C観光ガイドマップに気付いてくれていると実感しています。

「いちのせきサイエンスカフェ」は、ILCの実現を見据え、研究者などの専門家と気軽に語り合い、科学を身近に感じられるセミナーです。昨年からはじめ、今年度は計4回の開催を予定しています。

この寄稿は、今年度の第1回のサイエンスカフェの様子や翌日の報道の例、お店からのポスターの展示協力、市内の小・中・高等学校の全校に配布している開催のお知らせ、今後の予定などを伝える内容です。

なお、ポスター・チラシはこちらからダウンロードできます。

http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/en_conv/pdf/science_cafe01.pdf



東京大学秋元先生と話す生徒

知事との懇談

ILCサポート委員会 ディーン・ルーツラー



知事とILCサポート委員会の懇談
提供：奥州市国際交流協会

平成27年7月18日、ILCサポート委員会は岩手県達増知事、郷右近県議会議員と、岩手県の国際化やILCの実現について話し合いました。

私たちからは、英語教育やグローバル人材育成の重要性を強調したほか、ILCは国際化だけでなく、少子高

齢化や人口流出対策のカギになるのではないかなど、知事らに対し、様々な提案をしました。

その他にも、①県内観光施設のための多言語コールセンターをPRすること、②バス停や駅の名前のローマ字化、③市町村役場での多言語による情報提供などのアイデアを提案しました。

最後に、外国人の宿泊を拒む宿泊施設や警察による身分証明書のチェックなど、外国人が抱えている生活上の問題を打ち明けました。

知事も郷右近議員も、ILCサポート委員会の提案を真剣に聞いていただき、有意義な機会となりました。今後は、ILCサポート委員会として外国人住民向けのILCセミナーやシンポジウムの企画を考えていきたいと思えます。

ILCサポート委員会は、岩手に在住する外国人がボランティアとして東北の国際化に貢献するグループです。

委員長 ビル・ルイス 副委員長 遠藤パーリー 管理 奥州市国際交流協会



THE KITAKAMI TIMES ・ ILC の英語版広報誌 創刊号

発行：岩手県国際リニアコライダー推進協議会

TEL：019-624-5880 FAX：019-654-1588

協力：岩手県、奥州市、一関市、ILCサポート委員会など

